

未来への挑戦

今号の特集記事 / 教員採用試験一試験結果と二次試験対策



目の前の子どもを想定して模擬授業をしています

教員採用選考一次試験の結果、小学校希望者で現役が約90%の合格率！！

8月に入って、宮崎県をはじめ、九州各県や政令指定都市の教員採用一次試験の結果が発表されました。

現役学生

採用区分	県・市名	合格者数	合格率
小学校	宮崎県	16名	94.0%
	熊本県	1名	100%
中学校	宮崎県	1名	33%
高等学校	福岡市	1名	100%

卒業生

採用区分	県・市名	合格者数
小学校	宮崎県	6名
小学校	鹿児島県	1名
小学校	佐賀県	1名
中学校	鹿児島県	1名

表のとおり、現役学生が今年もがんばりました。小学校教員希望者19名中17名が一次試験に合格し、合格率は約90%というすばらしい成績を挙げました。中学校及び高等学校英語枠でも現役で一次試験を突破するなど、4年生の活躍は目を見張るものがあります。

また、卒業生もよく頑張っており、小学校で7名が合格し、中学校でも1名が合格しました。教員採用試験合格のための特別対策講座に1年次から取り組んできた成果が、間違いなく4年時に大きく実を結んだと思います。

公務員試験に多数合格！

採用区分	市・町名	合格者数
保育士・幼稚園教諭	宮崎市	3名（二次合格 卒業生1名を含む）
	都城市	1名（三次合格）
	門川町	1名（一次合格）
一般行政職	宮崎市	1名（二次合格）

公務員試験の合格という大きな志を抱いて、一人一人が本当に頑張ってくれたと思います。最終ゴールまで粘り強く取り組んでくれることを期待しています。



猛暑の中、教員採用選考二次試験の合格を目指して毎日がんばっています

今年度の教員採用選考二次試験は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、例年より1か月遅くなるという異例の事態になっていますが、一次試験に合格した4年生は、大学内外の教員や講師の方々のご指導を受けながら、気温35度を上回る猛暑の中、毎日模擬授業や個人面接、英会話の練習などに取り組んでいます。小学校の模擬授業は、国語、社会、算数、理科の4科目から課題が出されるので、すべての科目について、どの分野から出題されても対応できるように全員一生懸命頑張っています。



面接官役の教員の質問に真剣に答えています

二次試験対策に取り組む様子と感想文を紹介します。

学生A（教育学部 4年）

私が二次試験対策中に強く感じていることは、模擬授業で回数をこなすことの大切さです。友達同士で授業を見合い、練習を積み重ねていくことで、自分がどういう点を苦手としているかが明確になります。私は特に、4教科中で「国語」の授業が苦手ということに気がきました。その理由は、教材研究の不足があげられると考えます。その不足を解消するためには、友達と一緒に深い教材研究を行い、教科書と学習指導要領を何度も読み込むことが大切だと思います。友達と意見を出し合いながら行うことは、その教材を多面的に理解することにつながります。二次試験まで残り20日ほどとなりましたが、自信をもって自分の全てを出し切ることができるように、精一杯の準備をして臨みたいです。

共に頑張る仲間がいたからこそ、新型コロナウイルスの影響で試験期間が伸びたことをプラスに捉えることができました。学内外の先生方の手厚い指導や後輩の声援がとても励みになり、力になります。必ず現役で合格し、先輩方のように胸を張って教員になれるよう、努力を続けます。

学生B（教育学部 4年）

教員採用試験の二次対策を通して、仲間と協力することの大切さや資料を読み取るポイントを学ぶことができました。提示された課題に沿った模擬授業をするために、どのような流れに持っていかばいいのか悩んでいましたが、10分という限られた授業時間で繰り返し模擬授業に取り組んできて、非常に得るものが多いと感じた対策講座でした。

対策講座では、面接の練習をする機会もありました。普段は気付くことのできない、話し方の特徴やイントネーションについて指導を受け、自分自身の話し方等に気を付けるようになりました。

また、二次試験対策を通して、仲間と協力することで様々な考え方を学ぶことができました。自分たちで時間を見つけて、模擬授業や教材研究を行っていますが、仲間と話し合い、授業内容を深め合うことで、次第に授業づくりのポイントをつかめるようになってきたと思います。残りの時間をさらに充実させて、より良い結果に繋がるように、みんなで一致団結して努力します。

学生C（教育学部 4年）

8月5日から教員採用試験二次対策が始まり、私は面接練習でとても自信ができました。7月のころの私は面接が苦手で、試験官の質問に対してまともに答えられなかったり、言葉に詰まって最後まで話せなかったりして、面接については自信があるとはいえませんでした。外部講師の方や学内の先生方のご指導の下、どんなことが面接で聞かれるかなどを想定してノートにまとめ、自分だけの問答集を作成しました。8月に入り、対策講座の回数も増え、質問されたことに対してうまく答えられることができるようになり、自信につながりました。

宮崎県では宮崎県の教育課題や、教育振興計画など聞かれることがあるということも学ぶことができたので、自分でまとめ理解しながら、当日も堂々と面接に挑めるようにしたいです。現在、対策講座以外の時間を使って、主要4教科の教材研究を全員で行っています。授業の導入・展開・終末の構成を練り、各教科の内容理解も行っていきたいと思います。



模擬授業後に熱い指導が行われている様子です

恒例の二泊三日の合宿に替わる9月17日限りの夏季特別研修

9月下旬に予定していた恒例の「教員採用試験合格ための特別対策合宿A・B」は、新型コロナウイルス感染拡大のために中止になりました。教育学部2年生・3年生全員及び国際教養学部3年生の教職課程専攻学生が参加して、毎年実施している合宿ですが、参加した学生の感想見ると「とても充実した三日間であり、参加してよかった」という学生がほとんどなので、中止するのはとても残念です。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の状況を考えるとやむをえません。そこで、代替措置として9月17日に1日限りの夏季特別研修を行います。プログラムの中には、本学出身の小学校や中学校の教諭や認定こども園の保育教諭から教員採用試験の体験談や就職活動の話をしてもらったり、教育・保育現場の具体的な話をしてもらったりする講座もあり、学生たちにとって、きっと満足いく一日になると思います。プログラムは次のとおりです。

令和2年度 特別対策プログラム 令和2年9月17日(木)

研修内容					
学部 コース 学年	教育学部 小幼コース		教育学部 幼保コース		国際教養学部 3年 (20人)
	2年 (39人)	3年 (31人)	2年 (13人)	3年 (8人)	
場所	短大新館 3 5 教室		短大新館 3 6 教室		短大新館 4 5 教室 第1・2講義は3 5 教室
9 : 00	開会行事 (学長挨拶、日程説明、諸注意等)				
9 : 20	講義 1 「教員としての資質・学生に望むこと」 ＜宮崎県教育研修センター＞		講義 1 「保育者としての心構え」 ＜みどり幼稚園＞		講義 1 「教員としての資質・学生に望むこと」 ＜宮崎県教育研修センター＞
10 : 50	学習研修課 主幹 石川優子		園長 富高令子		学習研修課 主幹 石川優子
休憩					
11 : 00	講義 2 「教員採用試験対策」 ＜宮崎学園短期大学＞		講義 2 「新幼稚園教育要領」 接続期カリキュラム ＜宮崎市教育委員会＞		講義 2 「教員採用試験対策」 ＜宮崎学園短期大学＞
12 : 30	准教授 有嶋 誠		保幼小連携アドバイザー 柳 和枝		准教授 有嶋 誠
昼食・休憩 (短大記念館を中心として)					
13 : 15	講義 3 「模擬授業の要点」 ＜宮崎国際大学＞		講義 3 「模擬保育の要点」 ＜清武みどり幼稚園＞		講義 3 「模擬授業の実践」 ＜宮崎国際大学＞
14 : 45	教授 矢野健二		主任 川添ゆかり		特任教授 樋口晶彦
休憩					
15 : 00	個人面接全体指導 ＜宮崎学園短期大学＞ 特任准教授 倉岡豊実				講義 4 「学習指導案の作成」 ＜宮崎国際大学＞ 特任教授 樋口晶彦
17 : 00	個人面接実践指導 ＜宮崎学園短期大学＞ 准教授 有嶋 誠		個人面接実践指導 ＜宮崎学園短期大学＞ 特任准教授 倉岡豊実		
休憩					
17 : 30	講話 : 卒業生から 現場の様子と学生時代に 学んでほしいこと ＜宮崎市立榎北小学校＞		講話 : 卒業生から 現場の様子と学生時代に 学んでほしいこと ＜清武みどり幼稚園＞		講話 : 卒業生から 現場の様子と学生時代に 学んでほしいこと ＜日向市立平岩小中学校＞
18 : 30	畑中 心生		百市 日奈子		宮野 祐輔
閉会行事					